

# 新春市長対談 2015

## 市長 × 新社会人



かとう ゆうか  
**加藤 優香**

**学校法人福蔵寺学園 太陽幼稚園**  
年少を担当している幼稚園教諭です。趣味はピアノを弾くこと、スポーツをすること。スポーツはとくに球技が好きです。

いしい ゆうき  
**石井 優輝**

**株式会社コモ**  
製造部焼成課に勤務し、前工程の成型課で製造されたパン生地を焼いて仕上げる担当です。特技はテニス、趣味は音楽鑑賞です。

やの あつみ  
**矢野 渥美**

**尾張中央農業協同組合**  
小牧支店に勤務し、口座振替の処理、貸金庫の管理など、貯金業務を担当しています。趣味は飼い犬との散歩です。

ささかわ ともや  
**笹川 友也**

**株式会社ヒロミ**  
NYYN小牧店で美容師のアシスタントをしています。ジャンルを問わずファッションを見たり、調べたりすることが好きです。

山下史守市長とこれからの社会を担っていく若い世代の中から昨年春に市内の事業所に就職された新社会人の皆さん4人を小牧市役所に迎え、山下市長と、「小牧の将来」について語っていただきました。(敬称略)

### 夢・チャレンジ

**笹川** 私は、小牧山を見るとなぜだかほっとします。市長は小牧山に対してどのような思い入れがありますか。

**市長** 私は小さい頃から小牧山を見て育ちました。母校の小牧小学校の校舎の上から、美術の授業で小牧山の絵を描いたりした覚えもあります。市民の皆さんに「小牧山といえは何ですか」とアンケートをとっても、やはり小牧山が一番になりますね。それだけ小牧山は小牧市

民にとって親しみのあるシンボルです。

また、小牧山は最近、発掘で信長公が築いた石垣が見つかり、安土城から溯り、小牧山城こそが近世城郭のルーツだということが分かってきて非常に注目されているんですよ。

**矢野** 小牧山の文化的な価値も高まってきているんですね。

**市長** そうです。小牧山は、織田信長公が天下統一の夢への第一歩を記した地、いわば「夢・チャレンジ」の始まりの地です。小牧市はその郷土の歴史を大切に、市民の誰もが「特に夢・チャレンジの象徴であることもたちが夢を持ち夢に向かって挑戦していける、そんなまちを創っていきたくて頑張っています。

### 子どもの夢を応援するまち

**加藤** 市長が理想とするまちにするために、小牧の子どもたちにとってのよいことを伝えていきたいですか。

**市長** 世界の中の自分を確信し、



自分のルーツである国や郷土の歴史に誇りを持ち、親や先祖の地域に感謝することを忘れないでほしいですね。自分ひとりでは幸せにできないので、自分と周りとの関係をよく理解して、お互いに幸せになれるような社会を築くことが大切です。そういった社会の中で協調しつつ、自らの夢を叶える強い気持ちを持って前向きに努力し続けてほしいですね。

小牧市は、子どもたちの夢への挑戦をまち全体で応援するまちを目指しています。そうすることで、まち全体が元気になることはもちろん、子どもを軸に世代を越えて市民がつながり、支え合う、あたたかく住みよいまちになっていくことを願っています。

### 「在宅医療」の推進

**石井** 高齢化が進む中で、小牧市は高齢者に対してどんな支援策がありますか。

**市長** 見守りの充実や健康

づくり支援、高齢者の足を確保するための公共交通の利便化を進めるなどとしています。

しかし、今後、国も自治体も財政的に厳しさを増していきまます。そのため、本当に行政が守るべきところはしっかり守ると同時に、地域でできる部分を拡大していくことも必要です。

**笹川** ボランティア活動や地域の皆さんを含めてみんなで高齢者を見守っていくことが大切ですね。

**市長** そうです。また、市では昨年「医療・介護連携の事例検討会」を開催してきました。これは在宅医療の推進に向け、市、医師会、医療関係者、介護事業者など関係する多職種が集まり、実際に在宅で看取りを行うための事例を取り上げ、その人を取り巻く関係機関がどのように連携し、課題はどこにあるのかを考えていくものです。

在宅医療の体制を整えば、住み慣れた地域で最期まで暮らし続けることができます。年をとっても安心して暮らせる明るい高齢社会を築かなくては、若い人たちも希望が持てませんよね。





つながらり支え合う、誰もが喜ぶしやすいたたかひ小牧市を創っていきたいと思います。

**笹川** 市民が支え合い、協力し合うまちになってほしいです。

**市長** 市制60周年にあたり、市では様々な記念事業を考えています。そして、今後も小牧市の魅力に磨きをかけ、住みたい、住み続けたいと思われるまちになるよう私自身もチャレンジしていきたいと思っています。皆さん、今日はありがとうございました。

**新社会人一同** ありがとうございます。



**駅前新しいシンボル 魅力ある図書館を目指して**

**矢野** 図書館が新しくなる話をお聞きしました。具体的にとどのようなものになるのか教えていただけますか。

**市長** 市の新しい図書館は小牧駅前の市有地に建設し、平成30年度の開館を予定しています。民間のノウハウを活用するため、T S U T A Y Aで有名なカルチュア・コン

## 対談後記

山下市長と初めてお会いして、明るくて、とても話しやすい人だと感じました。

高齢化の問題について、「まず、市民全体が高齢者を支援しようと思う気持ちが大切」という市長の言葉を聞き、私も個人一人一人が高齢者を高い意識で見守り、助け合う事が大切だと感じました。

同時に、少子化問題も踏まえ、もっと自分たちの世代が、未来について考えていくことが必要ではないかと実感させられました。



**石井 優輝**  
株式会社コモ

小牧山に登り、歴史館で小牧山の歴史も聞け、充実した時間を過ごすことができました。

山下市長にお会いするまでは緊張と不安でいっぱいでしたが、当日はとても楽しくて、気分いたら時間が過ぎてしまいました。

市長の小牧市に対する熱意はとても強く、思わず聞き入ってしまう話が多かったです。

また、市民の声を受け入れ、よりよい小牧市を作ろうと色々な政策を考えてくださっていることが、とても伝わりました。

今回の対談で市長の考えも聞くことができとてもよい経験となりました。



**加藤 優香**  
学校法人福蔵寺学園  
太陽幼稚園

小牧のシンボルである小牧山を「夢・チャレンジ始まりの地」の拠点として、小牧市をもっと住みやすいまちにしていこう、というお話がとても印象的でした。これからの未来を担う若者や子どもたちを市全体でサポートしていき、小牧市をより一層活性化していくという信念を持った山下市長のお話はとても興味深かったです。

市長はとても優しく、ユーモア溢れる方で、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。また、今回のような市長と若者が触れ合える機会が増えたらよいと思いました。



**矢野 渥美**  
尾張中央農業協同組合

山下市長はとても若々しく、僕らの話を真剣に聞いてくれる温かみのあるとても親しみやすい方だと思いました。

市長は小牧市の事を本当に考えていて、僕の知らない小牧の歴史や地域の事など沢山のお話を聞かせていただきました。中でも印象に残っているのは一緒に小牧山に登った際に教えていただいた小牧山城の城壁の話です。今回とても良い体験をさせていただき、自分が働いている小牧をますます好きになりました。



**笹川 友也**  
株式会社ヒロミ N Y N Y小牧店

**小牧の魅力を外へも発信**

**市長** 一昨年の11月にこまき応援寄附金という制度を作りました。加藤 とういった制度なのですか。

**市長** 小牧市を応援したいという方の思いを実現するため、活用先を選んで寄附いただける、ふるさと納税制度を活用した制度です。小牧が発祥の地である名古屋コーチンを使った品を中心とした、小牧市ゆかりの品の中からお好きなお礼の品を寄附額1万円ごとに1品選ぶことができます。

**石井** どれぐらいの寄附があるのですか。

**市長** 制度が始まる前の寄附年間平均数は3件程度でしたが、平

成25年度は北海道から沖縄県まで全国2千名を超える方から約2,300万円の寄附がありました。大きな反響をいただいたこの制度は、市の財源確保、市の魅力発信、市内産業の振興という3つのメリットがあるため、これからも充実させたいと思っています。

**市制施行60周年を迎えて**

**市長** 小牧市は今年、市制施行60周年を迎えました。これまで多くの先人たちが小牧の未来に夢を描き、まちづくりの情熱を注いできました。様々な苦難を乗り越えて築かれた今日の小牧市には、多くの人々の想いがたくさん詰まっています。

そして今、私たちは先人の描いた夢、歩んだ足跡に想いを馳せつつ、小牧の未来に向かって次なる夢を描き、さらなる挑戦に進まなくてはなりません。

私たちは先人の「夢・チャレンジ」の精神を引き継ぎ、次代を担うこともたちの「夢・チャレンジ」をまち全体で応援することで、子どもを軸に世代を越えて市民が

